

「お母さん 大好き お母さん 大好き
神さま ありがとう お母さんをくださって」 幼児さんびか

「お父さん 大好き お父さん 大好き
神さま ありがとう お父さんをくださって」

.....

どんな命も父母をもっています。親の愛情をもらって育った子どもは、どんなにか幸いです。幼い時分は周りの大人の援けがなくては生き延びることができません。子供は親に見放されると生きていけないのです。

それにしても、子育てには、なんと多くの手、労力が必要でしょうか。

親だって人間ですから、子育てに挫折しそうになったり、放棄したくなったりするものです。わが子がかわいくて仕方がない時、逆に煩わしい時、こころの中は複雑ですね。毎日毎日のことですからね。

本当にご苦労様です。そしてありがとうございます。

親御さんたちが辛抱強く子どもたちと関わってくださっているのです、子どもたちは安心して、幼稚園での生活を楽しんでいきます。

幼児期は人間として歩み出すための基礎的な力、生活習慣を身につける時期です。これは木の根っこのようなものですから、目には見えていませんが、地面の中で木を支えています。この根っこ作りが、幼児期です。

そこで是非お勧めします。

○早く寝て(少なくとも9時)、早く起きる習慣を整える。

睡眠は大切です。大人の生活につき合わせるのは止めましょう。大人の毅然とした態度は、その時は嫌がったり、反発したりしても、やがて子どもは親御さんを信頼し、安心してのびのびと過ごすようになります。

こころを鬼にして少しずつ実行してみてもはどうでしょうか。

「継続は力」です。くり返し、くり返し、毎日の積み重ねが大切です。

わたしたちは親御さんと一緒に知恵や心を出し合って、また協力し合って、子供さん一人一人の成長を願いながら、援助していきたいと願っています。

.....

わが子よ、父と母とを敬え。父の諭しに聞き従え
母の教えをおろそかにするな。

それらは頭に戴く優雅な冠、首にかける飾りとなる